

## 実施状況管理シート（作業部会用）（案）

作業部会名	・病院部会	事務局	・佐渡市 市民生活課		
部会リーダー	・佐渡総合病院 佐藤病院長	サブリーダー	・両津病院 石塚院長 ・真野みづほ病院 長島病院長		
担当理事	・佐渡総合病院 佐藤病院長 ・両津病院 石塚院長				
作業部会構成員	① 各病院管理者または病院長 ② 佐渡地域振興局健康福祉環境部 ③ 佐渡市				
目標 (ゴール設定)	・持続可能な病院運営－「実効性のある機能分担と連携」－				
具体的な作業内容	① 病院ごとの機能・病床数・職種配置などの分担範囲を協議。 ② 分担範囲を前提とした連携基準の策定。 (1) 連絡窓口の一元化と明示。(各病院) (2) 紹介・転院連絡の方法及び様式の標準化。 (3) 病院機能及び生活支援を踏まえた入院・転院・退院・在宅の標準患者のフローの策定。(医療 介護連携部会との協働) ③ 病院職員の研修体制の標準化を検討。 ④ ③を踏まえた従事者確保方針の意志統一。				
年間計画	H30 年度	・各病院の運営状況、課題等把握および分析 ・分析および医療需要予測をふまえた病院機能分担等検討 ・病院毎の窓口一元化、病院間紹介手順の標準化の検討			
	H31 年度 ～ H32 年度	・未検討			
進捗状況管理  H30. 5 月 ～H30. 6 月	(2018/5/29) ・協議会・作業部会の位置づけ確認、課題抽出の必要性認識 (2018/6/28) ・各病院の運営状況の確認（過去 5 年）・分析				
部会中の会議体	・地域医療構想会議との一体化を進める				

## 実施状況管理シート（作業部会用）（案）

作業部会名	・介護サービス部会	事務局	・佐渡市 高齢福祉課	
部 会 リーダー	・大佐渡福祉会 特別養護老人ホーム 大浦の里 井野端園長	サ ブ リーダー	・佐渡市社会福祉協議会 塚本常務 ・愛宕福祉会 グループホームさど 久文管理者 ・介護老人保健施設すこやか両津 野田事務長	
担当理事	・大佐渡福祉会 渡部副会長 ・佐渡市社会福祉協議会 田上理事 ・愛宕福祉会 伊澤理事			
作業部会 構成員	① 佐渡市在宅医療推進センター ② 介護支援専門員代表者 ③ 居宅介護系代表者 ④ 通所介護系代表者 ⑤ 入所介護系代表者 ⑥ 訪問看護代表者 ⑦ 佐渡地域振興局 健康福祉環境部 ⑧ 佐渡市 高齢福祉課			
目標 (ゴール設定)	・介護サービスを必要とする利用者の状態に応じて流動的に対応できる、一体的な介護サービス提供体制の構築。			
具体的な 作業内容	① 各施設の機能（対応範囲）の把握と整理 (1) 施設機能の把握（医療処置に対する対応範囲や地理的な対応範囲含む） (2) 住民の介護保険に関する知識不足の解消 ② 共有すべき情報の把握と標準化 (1) 同職種間や多職種間での情報共有の場を設置（定期的な調整会議等により他施設の情報把握） (2) 入所系施設の申請様式の標準化 ③ 施設で利用する様式の標準化 (1) 入所系施設の申請様式の標準化 (2) 入所時の様式に限らず、統一が適当と思われる様式の標準化 ④ 機能の分担・改善に向けた対策 (1) 身元引受人に関する問題の検討 (2) 流動的に利用者を移動する体制の検討。 (1) 特養施設の入所申込の一元化 (2) 空床情報や待機者情報の共有 (3) 利用者の流れを調整、流動的な対応の検討 ⑤ 情報共有基盤として「さどひまわりネット」の活用を検討。 (1) 施設の機能等を ICT を活用しタイムリーに情報共有（空床情報や待機者情報の見える化） (2) 在宅高齢者のサービス利用状況の見える化			
年間計画	H30 年度	・各施設の機能（対応範囲）を把握・整理し、機能の分担・改善に向けた対策を検討する。様式の標準化を検討する。		
	H31 年度 ～ H32 年度	・施設の機能分担・機能改善を行い、ICT 等を活用し流動的に利用者を移動する体制を構築する。		
進捗状況管理	(2018/5/2)・第1回介護サービス部会を市役所大会議室で開催。目標を設定し具体的な作業内容について協議。協議により決定した6つの具体的な作業内容ごとに担当を決め、担当メンバーを中心として、それぞれ打合せを行いながら作業を進めている。第2回を7月18日に開催しそこでそれぞれの進捗状況を確認する。			
部会中の会議体				

## 実施状況管理シート（作業部会用）（案）

作業部会名	・障がい福祉サービス部会	事務局	・佐渡市 社会福祉課		
部会リーダー	・社会福祉法人 佐渡福祉会 岩の平園 渋谷園長	サブリーダー	・佐渡国仲福祉会 はまなすの家 藤原施設長 ・とき福祉会 雜賀施設長		
担当理事	・佐渡福祉会 彈正副会長 ・佐渡国仲福祉会 本間理事 ・とき福祉会 末武理事				
作業部会構成員	・部会構成員は、佐渡市地域自立支援協議会参加者を基本とし、本協議会に関係する者を登載。 ① 福祉サービス事業所代表者                  ② 精神科医師 ③ 小児科医師                  ④ 佐渡地域振興局 健康福祉環境部 ⑤ 佐渡市 市民福祉部 社会福祉課				
目標 (ゴール設定)	・障害の状況に応じて、ニーズにあった適切な支援を途切れなく、継続的に受けることができる体制を整備する。				
具体的な作業内容	① 総合的な相談支援体制の構築 ・基幹相談支援センターを中心とした各相談支援事業所との情報共有に関する検討 ・人材養成環境の整備に関する検討 ・障害分野以外の高齢福祉、保健・医療機関との情報共有に関する検討 ② 地域生活拠点等の整備 ・各施設等の地域資源のネットワーク化（情報共有）に関する検討 ・不足する資源の開発に向けた検討				
年間計画	H30 年度	・障害福祉関係の事業所の現状把握、課題整理を行い、効果的な情報共有化に向けた連携方策を検討			
	H31 年度 ～ H32 年度	・関係機関との連携方策の実現に向けた事業化			
進捗状況管理					
H30. 月 ～H30. 月					
部会中の会議体	「佐渡市地域自立支援協議会」 ・障害者（児）が地域で安心して生活できるよう相談支援事業をはじめとする地域の障害福祉に関するシステムづくりに関し、中核的な役割を果たす定期的な協議の場として設置された協議体。 構成メンバー：医療機関を代表する者、障害福祉サービス事業者、関係行政機関の職員 8つの専門部会設置、協議会事務局は佐渡市社会福祉課				

## 実施状況管理シート（作業部会用）（案）

作業部会名	・在宅医療部会	事務局	・佐渡市在宅医療推進センター
部会リーダー	・佐渡医師会 小野素一		
担当理事	・佐渡歯科医師会 児玉理事（代表）・佐渡薬剤師会 金子理事（副代表）・佐渡医師会 中山会長		
作業部会構成員	① 在宅医療推進センター ② 病院代表者 ③ 診療所代表 ④ 歯科診療所代表者 ⑤ 保健薬局代表者 ⑥ 訪問看護代表者 ⑦ リハビリ関連代表者 ⑧ 介護支援専門員代表者 ⑨ 居宅・通所・入所介護代表者 ⑩ 佐渡地域振興局 健康福祉環境部 ⑪ 佐渡市 高齢福祉課		
目標 (ゴール設定)	・「在宅」を入院外（居宅・介護施設等）と捉え、佐渡における在宅医療の基礎を構築する。		
具体的な作業内容	① 通院負担を減らして在宅での生活機能を保つ方策を検討。 ② 退院前生活指導の標準仕様を作成。 ③ 在宅医療へつなぐ様式の標準化。 ④ 退院後の状態評価の用紙の標準化。 ⑤ 退院後に指導内容を継続できているか確認する体制の構築。 ⑥ 緩和ケア等の継続と効果を評価する体制の構築。 ⑦ 各施設のサービス・機能・受入可能数の一元管理、調整利用の構築。		
年間計画	H30 年度 ～ H32 年度	・H30. 6～H31. 5 理論設計（WG 体制整備、課題抽出と要因分析など） ・H31. 6～H32. 5 実施設計（課題解決の検討、実施プラン・マニュアル・様式等の作成など） ・H32. 6～H33. 1 実証試験（試行、プランの見直し、運用の再構築） ・H33. 2～ 導入実施（本稼働）	
		※上記スケジュールに変更が生じた場合はリスクケジュールを実施し、理事会に報告する。	
進捗状況管理	H30. 5 月 ～H30. 6 月	(2018/5/17)・第1回在宅医療部会を開催し、当部会の体制図及び構成員等の役割、取り組んでいく課題について協議。 (2018/6/20)・第2回在宅医療部会を開催し、課題の分類、担当者の振り分けを行ない、課題の内容に沿って2つのワーキンググループで対応していくこととした。 (2018/6/27)・第1回在宅WG 及び第1回入退院WG を開催し、今後の方向性を検討。	
部会中の会議体	・在宅WG ・入退院WG		

## 実施状況管理シート（作業部会用）（案）

作業部会名	・医療・介護・福祉連携部会 (資源調整管理部会)	事務局	・佐渡市 高齢福祉課
部会リーダー	・佐渡市 高齢福祉課 山本課長	サブリーダー	・佐渡地域振興局健康福祉環境部 地域保健課 伊里課長
担当理事	・佐渡地域振興局 小林理事 ・佐渡市 三浦理事		
作業部会構成員	① 病院部会代表者 ② 介護サービス部会代表者 ③ 障がい福祉サービス部会代表者 ④ 佐渡地域振興局 健康福祉環境部 ⑤ 佐渡市 高齢福祉課		
目標 (ゴール設定)	① 住民の状態・要望に応じてサービス提供者を動的に変更する体制の構築。 ② 佐渡市内資源量を把握するためのシステムの構築と運用方法の確立。		
具体的な作業内容	① サービス提供者を動的に変更する体制構築に関すること (1) 情報共有にかかる住民同意に関する協議 (2) 提供者の機能・役割の把握と分担範囲の集約及び調整 (3) 受入可能・不能の判断基準の標準化の集約及び調整 (4) 退院後に指導内容を継続できているか確認する体制（関与職種の役割分担と調整方法）の集約及び調整 ② 資源量把握にかかるシステムの構築と運用方法に関すること (1) 管理対象項目の洗い出し (2) システムの導入・運用方法の検討 (3) データの分析・二次利用方法の検討		
年間計画	H30 年度	① サービス提供者の機能・役割と分担範囲を把握し、施設への受入可能・不能の判断基準を標準化する。 ② 資源量把握システムの管理対象項目を洗い出し、システムの導入や運用方法を検討する。	
	H31 年度 ～ H32 年度	・システムの導入・運用に関する協議を継続し、平成 31 年度中に試験運用、平成 32 年度から本運用を開始する。	
進捗状況管理	H30. 5 月 ～H30. 6 月	(2018/5/22)・第 1 回医療・介護・福祉連携部会（資源調整管理部会）を開催。目標設定及び具体的な作業内容、平成 30 年度の年間計画について協議を行う。各作業部会での検討内容の集約・調整、及び管理対象項目の洗い出しを進めていく。	
部会中の会議体			

## 実施状況管理シート（作業部会用）（案）

作業部会名	・学習・研修部会	事務局	・佐渡地域振興局健康福祉環境部		
部会リーダー	・佐渡地域振興局健康福祉環境部 地域保健課 伊里課長	サブリーダー	・佐渡市 市民生活課 小路課長		
担当理事	・介護福祉士会 中村理事 ・社会福祉士会 本間理事 ・看護協会 加藤理事				
作業部会構成員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下①～④の代表者</li> <li>① 各病院の医事担当、薬剤師、歯科衛生士、セラピスト、検査技師、放射線技師</li> <li>② 各病院、施設の管理栄養士、看護師及び訪問看護師</li> <li>③ 介護支援専門員、社会福祉士、介護福祉士、介護職員</li> <li>④ 薬剤師会、看護協会、リハビリテーション専門職協議会</li> </ul>				
目標 (ゴール設定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療介護従事者の教育研修環境の整備・充実 佐渡島内の医療介護従事者が共通して、職種毎の基礎的な技術習得と、組織別のチームリーダーの養成ができる研修体制を構築する。</li> </ul>				
具体的な作業内容	<p>A 部会全体会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 施設別職員年齢、経験年数構成の確認、及び職員確保の現状と方法の共有</li> <li>② 研修プログラムの様式統一</li> <li>③ 職種グループの進行管理</li> </ul> <p>B 職種グループ検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 各施設の学習、研修状況の確認</li> <li>② 初期研修プログラムの策定</li> <li>③ 自施設で研修できないプログラムへの対応</li> <li>④ 修了証交付の検討</li> </ul>				
年間計画	H30 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 初期研修プログラムの完成</li> </ul>			
	H31 年度 ～ H32 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 初期研修プログラムの試行、修正</li> <li>② 後期研修プログラム（組織別チームリーダー養成）の策定</li> <li>③ 島内全体の研修体制の検討（施設間交流研修、資格取得研修）</li> </ul>			
進捗状況管理 H30. 5 月 ～H30. 6 月	<p>(2018/5/23) 【第1回部会全体会】 18:30～20:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参集者 66 名（医事担当、薬剤師、リハビリ、歯科衛生士、検査技師、放射線技師、管理栄養士、看護師、社会福祉士、介護支援専門員、介護福祉士等）</li> <li>・内 容 協議会の趣旨説明、学習研修部会の進め方等を説明</li> <li>職種グループ毎（11 職種）に幹事を決め、検討することを了承</li> </ul> <p>(2018/6～7 月) 【職種グループ検討会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職種グループの幹事を中心に、検討会を準備中。研修プログラムの作成に着手</li> </ul>				
部会中の会議体					

## 実施状況管理シート（作業部会用）（案）

作業部会名	・広報部会	事務局	・佐渡市 社会福祉課
部会リーダー	・佐渡市 社会福祉課 大屋課長	サブリーダー	・佐渡地域振興局健康福祉環境部 地域保健課 萩野主任
担当理事	・佐渡地域振興局 小林理事 ・佐渡市 三浦理事		
作業部会構成員	① 各部会代表者 ② 在宅医療推進センター ③ 佐渡地域振興局 健康福祉環境部 ④ 佐渡市 高齢福祉課		
目標 (ゴール設定)	・協議会の活動を効果的に情報発信できる広報体制を構築し地域住民の理解促進を図る。		
具体的な作業内容	・協議会の Web サイト立上げ ・協議会の広報物の作成 ・協議会主催のミニ講演会の開催		
年間計画	H30 年度	① 佐渡市の Web サイトを利用した協議会活動の情報発信 ② 協議会を紹介する広報物の作成と配布 ③ 協議会主催のミニ講演会を企画	
	H31 年度 ～ H32 年度	・協議会単独の Web サイトの開設 ・協議会が計画する各事業の広報活動（印刷物の作成など）	
進捗状況管理	H30. 5 月 ～H30. 6 月	(2018/5/22)・第 1 回広報部会を開催。目標設定及び具体的な作業内容（情報集約の方法、広報の内容・手段・予算確保等）、平成 30 年度年間計画について協議を行った。	
部会中の会議体			